



Arsenal | Capital Partners



本資料は 2012 年 4 月 26 日に BASF(ドイツ本社)、アーセナル・キャピタル・パートナーズ、フースン社共同で発表したプレスリリースの和訳です。

2012 年 5 月 15 日

BASF、ノボライト テクノロジーズ社を買収

- BASF、リチウムイオン電池用電解液フォーミュレーションのグローバルサプライヤーに成長
- 電池セルやバッテリー・メーカーに対する機能性材料や部材の世界大手サプライヤーに向けて一歩前進
- 高機能製品事業における BASF の北米向け中間体ポートフォリオを強化

BASF(ドイツ、ルートヴィヒスハーフェン)、米国の投資会社アーセナル・キャピタル・パートナーズ(米国ニューヨーク、以下、アーセナル)、韓国のフースン社は 2012 年 4 月 26 日、BASF がノボライト テクノロジーズ社(米国、オハイオ州クリーブランド 以下、ノボライト)を買収したと発表しました。ノボライト社はリチウムイオン電池用電解液フォーミュレーションおよびスペシャリティケミカルのメーカーです。社員は 167 名で、米国および中国を拠点に事業活動を展開しています。BASF は、同社を米国の投資会社アーセナルから買収いたしました。両社の合意により、買収契約の詳細は公表いたしません。

今回の買収対象は、高性能なリチウムイオン電池向け電解液フォーミュレーションの開発・製造・マーケティングを中心としたノボライト社のエネルギー貯蔵関連の事業です。加えて、BASF は、北米におけるスペシャリティケミカルの大手メーカーでもあるノボライト社の高機能製品事業も買収いたしました。

買収した高機能事業のポートフォリオは、アリルホスフィン類、高機能溶剤、カスタムメイドのスペシャリティ製品などです。また、電解液フォーミュレーションや高機能化学品関連においてノボライト社が保有していた特許 10 件も買収対象に含まれています。さらに、韓国のフースン社との合弁会社も買収に伴って BASF が事業を継承いたします。なお、フースン社は、自動車や消費財、生産財といった市場で急速に成長しているリチウムイオン電池の性

能を左右する電解液フォーミュレーションの製造に不可欠な材料である高純度特殊塩「LiPF₆(ヘキサフルオロリン酸リチウム)」のグローバルメーカーです。

ノボライト社は、米国ルイジアナ州バトンルーージュと中国蘇州に製造拠点を所有しています。また、フースン社と BASF の合併会社が操業を行う予定の LiPF₆ 製造工場は、現在中国の南通(ナンツウ)に建設中です。両社の中国での拠点は、いずれも上海周辺に位置しています。

BASF の取締役兼リサーチエグゼクティブ・ディレクター Dr.アンドレアス・クライマイヤーは、次のように述べています。「今回の買収により、BASF は欧州、米国、アジア太平洋地域に製造拠点を持つリチウムイオン電池用電解液フォーミュレーションのグローバルサプライヤーとなりました。BASF はアミン類、ジオール類、有機酸類、ポリアルコール類、スペシヤリティ製品を提供していますが、今回の買収はこれらを補完するとともに、北米市場における BASF の存在感を強化してくれるものと言えます。」

BASFのグローバル・バッテリー・マテリアル、シニア・バイスプレジデント、ラルフ・マイクスナーは、次のように述べています。「BASFは、電池セルやバッテリー・メーカーに対する機能性材料や部材のグローバルサプライヤーを目指しており、今回のノボライト社の買収は、この長期的な目標の実現に向けた一歩となります。今回の買収は、電気自動車の今後の展開に備え、バッテリー材料関連の技術において幅広いポートフォリオを構築し、技術力においても地位の確立を目指す戦略に基づくものです。」

フースン社のチーフ・エグゼクティブ・ディレクター、ハンジョー・ソン氏は、次のように述べています。「急速に成長しているバッテリー材料市場において、世界的に高名な化学会社 BASF と協働できることを非常に喜ばしく思います。新しい合併会社を通じ、フースン社はグローバルなバッテリー市場の発展をサポートするという機会を追求し、高品質な LiPF₆ のメーカーという立場を堅持していきたいと考えています。」

ニューヨークに本拠を置くアーセナル・キャピタル・パートナーズ社のパートナー、ジョン・テレバントス氏は、次のように述べています。「ノボライト社が素晴らしい企業の一員になった

ことを、非常に嬉しく思っています。これまでフースン社と培ってきたパートナーシップを継続し、世界をリードする化学会社の一員として、社員がこのプラットフォームを活用し、私たちも電気自動車を積極的に推進していきたいと思えます。」

BASF の電気自動車関連事業

安全で高効率な電気自動車を手頃な価格で実現するためには、画期的な材料と機能性部品が必要です。そのためBASFでは、産業界や学会のパートナーと協力し、次世代のリチウムイオン電池や将来のバッテリー・システムを担う材料や技術の開発を強化しています。エネルギー貯蔵の新しいソリューションを短期間で開発するため、米国オハイオ州イリリアにおけるバッテリー材料の製造プラントの建設は大きな一歩と言えます。バッテリー材料のほか、軽量化に資するプラスチックや複合材料、塗料や車両内装に使用する赤外線反射塗料といった熱管理を改善するソリューションなども最近注目されている技術です。

BASF の バッテリー 関連 事業 に関する 詳しい 情報 は 、 <http://www.battery-solutions.basf.com> をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は世界をリードする化学会社「The Chemical Company」です。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASF は、経済的な成功、社会的責任、そして環境保護を同時に実現しています。また、BASF は科学とイノベーションを通して現代社会や将来のニーズを提示しながら、あらゆる産業のお客様を支援しています。BASF の製品とシステムソリューションは、資源の確保に貢献し、健康的で栄養価の高い食品を提供するとともに、生活の質の向上に寄与しています。BASF はこれらの活動を企業目標として「私たちは持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります」を掲げています。2011年の売上は約735億ユーロで、従業員数は約11万1,000人です。BASFの詳しい情報は、www.basf.com(英語)、newsroom.basf.com(英語)、www.japan.basf.com(日本語)をご覧ください。

■アーセナル・キャピタル・パートナーズ社について

アーセナル・キャピタル・パートナーズは、ニューヨークに本拠を置く有力投資会社で、中級市場の特殊産業、ヘルスケア、金融サービスなどの企業に投資を行っています。投資の対象は、アーセナルが十分な知識と経験を有しているところです。アーセナルでは、経営陣との緊密な協力を通じて成長を加速するとともに、アーセナルの業務改善能力を活用して価値を生みだせる事業に対して投資を行います。アーセナルが現在保有している株式の総額は8億ドルです。アーセナル・キャピタル・パートナーズに関する詳しい情報は、www.arsenalcapital.com をご覧ください。

■フースン社について

フースン社は、1980年代から高品質なフッ素化合物を提供してきました。この高品質フッ素化合物は冷蔵庫やエアコンのフルオロ化合物、半導体、リチウム・バッテリー用電解質などに使用されています。フースン社の事業は、基本的な化合物の製造・販売、クリーン開発メカニズム(CDM)事業、自動車業界向け自動車用フロ

アマットと大きく3つのセクターにわけることができます。従来までは冷蔵庫用ガスの用途が大部分を占めていましたが、近年、多角化を実現し、リチウムイオン電池用電解質とCDM事業からも利益を上げられるようになりました。現在、重要な産業分野においてトップクラスのポジションを占め、今後は、エコフレンドリーな技術について研究開発や投資を継続してさらなる成長を目指します。フースン社に関する詳しい情報は、www.foosung.comをご覧ください。

本リリースに関する日本でのお問い合わせ先：

BASF ジャパン株式会社 コーポレート・コミュニケーションズ本部

海保 千穂 TEL: 03-3796-4879 FAX: 03-3796-4111

chiho.kaiho@basf.com

麦谷 英理子 TEL: 03-3796-4865 FAX: 03-3796-4111

eriko.mugitani@basf.com